

2025 年 3 月 21 日

報道機関 各位

**被爆 80 年 長崎大学「継承と行動」プロジェクト
「核廃絶への政治的アプローチを再考する」
カーネギー国際平和財団と RECNA の共同研究による書籍
出版記者会見**

米国ワシントン DC にあるカーネギー国際平和財団（CEIP）は核軍縮・不拡散研究では世界屈指のシンクタンクです。RECNA はこの CEIP と 2 年近くにわたって共同研究を進めてきました。その成果として、デジタル書籍「核廃絶への政治的アプローチを再考する」（英文タイトル：Rethinking a Political Approach to Nuclear Abolition）を出版します。出版後は RECNA と CEIP のウェブサイトにて無料でご覧いただけます（現段階は英文のみ）。国際秩序が揺らぐ一方で、核抑止依存諸国と核兵器禁止条約（TPNW）支持諸国の対立も続いています。本書では新たな突破口を開くべく、核軍縮と核使用リスク削減などに向けた政策提言を示しています。本共同研究は被爆 80 年事業の一環で実施して参りました。

つきましては、この書籍についてブリーフィングを下記の通り開催いたします。ぜひ、ご出席賜りますようお願い申し上げます。

記

■日 時： 2025 年 3 月 28 日（金） 11：00 より（1 時間程度）

■場 所： 長崎大学核兵器廃絶研究センター（RECNA）1 階会議室

■出席者： 吉田 文彦
西田 充

RECNA センター長、教授
多文化社会学部教授、RECNA 兼務教員

【本リリースに関するお問い合わせ先】

長崎大学核兵器廃絶研究センター

TEL: 095-819-2164 Email : recna_staff@ml.nagasaki-u.ac.jp